

第2回 「使える」ハイウェイ推進会議 議事要旨

平成16年8月23日(月) 14:00~16:00

合同庁舎3号館 11階特別会議室

【議事概要】

「使える」ハイウェイのための「工夫」について

- ・ 「使える」ハイウェイとするための「工夫」を行うために「仕組み」を作ることが重要であり、「工夫」や「仕組み」に関する海外の先進事例を調査することが重要。
- ・ 例えば「仕組み」として、TDMを実施する際の地域協議会に相当するようなもので、高速道路の利用の仕方について「話し合いの場」を設け活用することなどが考えられる。

物流事業者から見た「使えるハイウェイ」について

- ・ 「使えるハイウェイ」には「物流の効率化による経済効果」と「環境問題などの社会的な問題の解決」両方の観点が必要である。また、物流と人流は分けて考える必要がある。
- ・ 物流については、より実効的な料金施策が求められており、特にトレーラーなどの料金については弾力的な割引率を設定すべきであり、料金を払っても高速に乗るだけの付加価値をつける必要がある。
- ・ 料金施策だけでなく、ICの拡充、SA、PAの環境整備(貨物車専用駐車場、休憩施設、シャワープール、給電施設など)などにより高速道路を利用しやすいものにしていく必要がある。
- ・ 物流業者にとっては、港湾などと高速道路がうまくつながっておらず、リードタイムが読めないところが大きな問題。
- ・ 国民に納得してもらうためには、トラック事業者自体がもっとCSRに取り組むべき。

道路行政と法律学との関係について

- ・ 行訴法の改定により、「公法」が復権し、実務主導の改革がなされつつある。今後は裁判が動くことを念頭に制度を設定していくことが不可欠。
- ・ 道路は、そもそも公物・国民の共有財産であり、道路に対する「一般公衆の潜在的利用可能性」という公益が顕在化することが、「使えるハイウェイ」の基本である。
- ・ 道路は迷惑施設としての側面もあり、物理的瑕疵がなくとも供用関連瑕疵について問われる可能性がある等(43号訴訟判決)、沿道環境等への負の影響に関連して、道路の供用の仕方への配慮が要請されている。料金施策などにより、自動車走行のあり方について行政が乗り出すことは、この要請にこたえることである。

「使える」ハイウェイの実現に向けた技術的な工夫について

- ・ 「使えない」ということは、「使えることを知らない」(利便性の認知度が低いことなど)「使いたいが使えない」(高齢者等の運転未熟者など)「使えるが今のままでは使わない」(低速車がいて高速走行できない、高速バスとの連携が不十分など)という3つに分類できる。
- ・ ハイウェイをネットワークとして「使える」ものにするためには、幹線道路の階層性の再構築、幹線道路と非幹線道路の連続性、ユーザーとコミュニケーションが必要である。

道路整備の社会的目的について

- ・ 経済学的には、資源配分効率の達成という目的が第一義にあり、道路については市場に任せては資源配分効率が達成できないため、政策的に整備する必要があるというのが最も狭い意味での「公益」に相当する。
- ・ 道路は政策的に整備されるものであるが、いったん整備されてしまうと利用者にとってはマーケットになってしまう。料金政策にしても、その料金設定が利用者にとってどのような影響を与えるかという点が重要。「使える」ハイウェイとは何かを考えると、必ずマーケットに立ち返るべき。
- ・ マーケティングの4Pで言うと、プロダクト、プライスについてはこれまでも考えてきているが、プレイス、プロモーションについてはあまり考えられていない。また、全体のマーケットを拡げていくためにも、まずはターゲット市場の選定が重要である。

地方部における高速道路の役割について

- ・ 道路が農村女性の社会進出を支えているが、地方部では今でも地域のか細い道路に頼っているのが現状である。
- ・ 不便なところ、遠いところにあるビジネスチャンスはごく僅かであり、高速道路が使えるようになれば、ビジネスチャンスが広がる。たとえば東北では高速道路のネットワークがうまく繋がっていないが、そこを繋げる政策をして欲しい。
- ・ 降雪地域にとって冬期の道路の通行は非常に危険が多い。除雪がしっかりされている安全な高速道路が使えるようになれば、こうした危険を大きく軽減することができる。冬期には高速料金を割り引くなどの優遇措置を考えるべき。
- ・ また、働く女性にとって高速道路の料金負担は重い。マイレージ制度などの導入により負担を軽減するべき。
- ・ 特に地方の人にとっては、都市部から人に来てもらうことのメリットが大きい。
- ・ 人の移動に関して言えば、航空、新幹線などとの競争をどう考えていくかが重要である。